

11月17日 「リメンバーin岡崎」を開催

今年度も、岡崎市において「わかちあいの会」を開催することが決まりました。

2010年12月に始めた岡崎市での自死遺族の「分かち合いの会」は、今回で10回目となりました。愛知県東部にお住まいの方からは、名古屋は遠方で行きづらいというお声を聞いています。また、近隣での開催がないことで、自死遺族の「分かち合いの会」というものの存在をご存じない方も多くいらっしゃるのではないかと思います。今回の岡崎の場が、少しでも遺族の方の支えの場になることを願っています。

- 日時** 2019年11月17日(日) 13:15-16:00
- 場所** 岡崎げんき館 愛知県岡崎市若宮町2丁目1-1
- 内容** 「自死遺族の分かち合いの会」
対象：自死遺族の方限定
- 交通** 名鉄「東岡崎駅」(北口) →名鉄バス約12分
または
→まちバス約17分
愛知環状鉄道「中岡崎駅」 →まちバスで約37分
- 参加費** 無料
※令和元年度愛知県地域自殺対策強化事業費補助金事業

7月21日・遠足に行ってきました

2015年4月の第21回を最後に休止していました「遠足の会」ですが、4年ぶりに行うことができました。

「遠足」は、日常を少し離れ、共に時間を過ごすことで、「わかちあいの会」の時間だけでなく、日ごろからお互いに支えあえる関係を築くことができたらという思いから行っているものです。

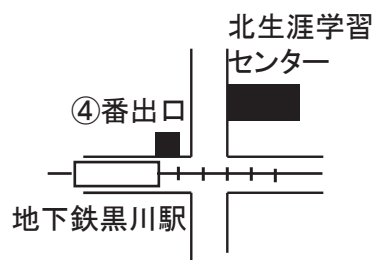
今回は、11名の方にご参加いただき、大高駅近くでバーベキューを行いました。次回の日程は決まっていますが、ぜひ行いたいと思います。

また、12月の遺族会(日程は10月初めに決定)終了後には、「望年会」として、食事会を予定しています。ぜひご参加ください。遺族会に参加したことがある方であれば、どなたでもご参加いただけます。

次回の遺族会

第94回

8月18日(日) 13:15から
名古屋北生涯学習センター
地下鉄名城線「黒川」下車
(4番出口)よりすぐ
参加費:500円



その次は...

第95回

2019年10月14日(月・祝)
北生涯学習センター

日程は、ホームページまたは、電話案内でご確認いただけます。
パソコンの方

<http://will.obi.ne.jp/remember/>
携帯電話の方

<http://www.will.obi.ne.jp/m/>
電話案内(録音でのご案内)
090-8544-9408

スタッフ募集

遺族会に参加したことがある方で、会の活動のお手伝いをいただける方募集しています。
詳しくはお問い合わせください。

新聞郵送をご希望の方へ

1月～6月末までのお申し込み(前期)…1000円 もしくは 82円切手(80円切手も可)13枚

7月～12月末までのお申し込み(後期)…500円 もしくは 82円切手(80円切手も可)7枚

お申込みは、郵便番号・住所・氏名を記入の上ご送金いただくか、切手をご郵送ください。

近隣の遺族会のご案内

次回「ディアレスト」のご案内

家族ではないけれども大切な人を自死で亡くされた方を対象に、遺族会「ディアレスト (Dearest)」が開催されています。

日時：2019年9月22日（日）13:30-16:00

場所：名古屋市中村生涯学習センター
地下鉄東山線「本陣」駅

対象：家族以外の大切な人(恋人・婚約者・パートナー・親友・同僚・上司・部下・先輩・後輩・先生・生徒、など)を自死(自殺)で亡くされた方

参加費：500円

連絡先：the.dearest1@gmail.com

<http://dearest.heya.jp>

次回「～こころの居場所～AICHI自死遺族支援室」のご案内

日時：2019年9月28日(土)

14:00～16:00 (開場 13:45)

場所：名古屋市政資料館 参加費：500円

連絡先：cocoroibasyo@yahoo.co.jp

090-4447-1840

<http://cocoroibasyo.org/>

次回「いっぷく処」のご案内

さまざまな宗派の僧侶の方が集った「いのちに向き合う宗教者の会」により、「いっぷく処」が定期的で開催されています。平日午後での開催になります。

対象：大切な方を自死で亡くされた方

日時：2019年10月3日(木)

14:30～17:00(開場14時)

場所：東別院本堂下広間 (地下鉄東別院下車)

主催：いのちに向き合う宗教者の会

連絡先：info@inochi.in <http://inochi.in/>

その他、近隣の自死遺族のわかち合いの会

岐阜「千の風の会」・・・

問い合わせ：岐阜県精神保健福祉センター

058-231-9774

浜松「浜松わかち合いの会」・・・

問い合わせ：浜松市精神保健福祉センター

053-457-2709

その他、全国に自死遺族の分かち合いの会があります。詳しくはお問合せください。

りめんばー

7月に起こった京都アニメーションの放火事件はとてつらいものでした。特に作品に思い入れがあったわけではないのですが、亡くなった方、遺族の方、花を手向ける人たちの思いを想像すると、その重さに胸が締め付けられます。

亡くなった方の名前を公表するかどうかで、さまざま議論が巻き起こっています。個人的には、亡くなった方のお名前を広く知らせるというマスコミの姿勢には同意できないことが多いのですが、ある遺族の方が「生きた証として公表する」とおっしゃっていたのは心に強く残りました。

「生きた証」は、ちゃんとその人が生きていたのだという、痕跡のようなものかもしれません。映像、写真、書いたものはもちろん、その人が捨てたゴミくずでさえ、その人の存在を感じます。そして、その人のことを覚えている人たちの記憶こそ、確かな証として残り続けるのでしょうか。悲しみや、ぽっかり空いた虚しさだって、その人が生きていた証でもあります。

自分自身、8月に命日がやってきます。物としての痕跡は、年月と共に否応なしに少なくなってきています。しかし、この暑さと共に思い起こされるその死は、いつまでも穏やかな気持ちで受け止められるようにはなりません。決して笑顔だけではなかった人生、当人はもしかすると「生きた証」など全部消し去ってほしいと願っているかもしれません。ただ「死んだ証」だけを残して。(KN)